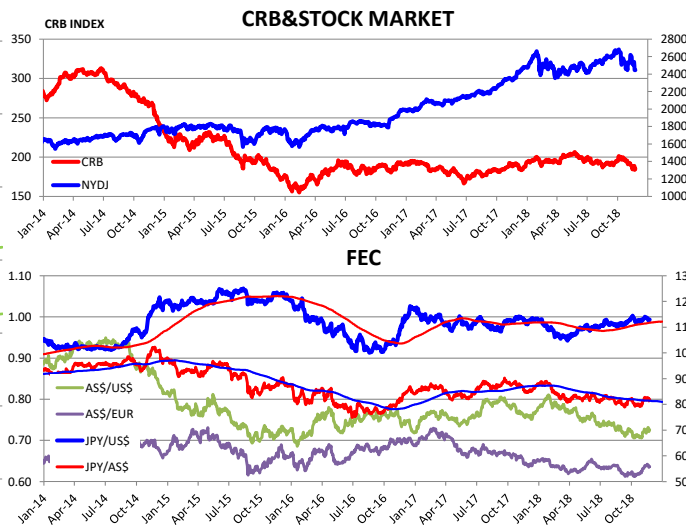
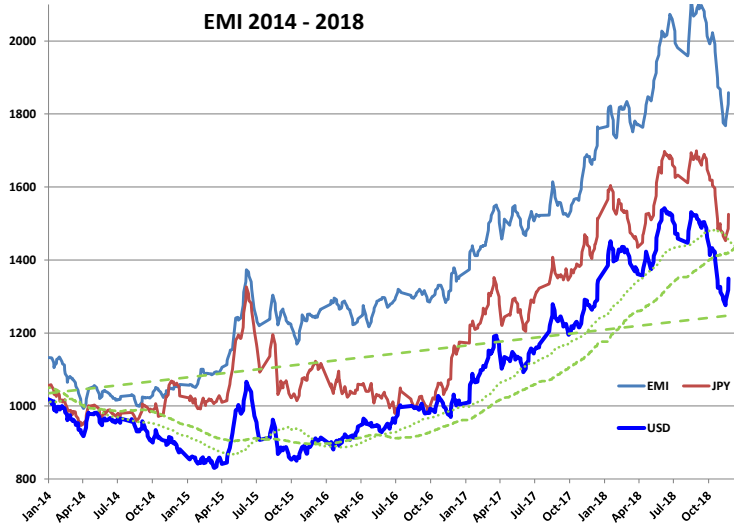


Motohiro Weekly Market Report

23-Nov-18

SALE WEEK

21



COMMENTS

A dramatic change of direction in market fortunes this week at the Australian wool auctions after three months of a downward trend. Whilst demand remains low, the upcoming recess is causing a price squeeze as buyers scramble for wool before the three weeks Christmas recess. Commentary from exporters did also indicate a slightly increase in Chinese inquiry for new contracts, but what percentage of that enquiry was converted to actual new business remains to be seen in order to continue to strengthen market pricing.

Perhaps giving rise to true market forces were the levels that the 19 to 21 micron Merino fleece lifted to in rapid fashion. This wool type area is traditionally regarded as the bread and butter of Chinese demand and with 100ac plus rises occurring, renewed needs for those wools was clearly evident. The lift in price levels looks to have coincided with the release of the latest forecast data (see below) from the industry. The trade had largely suspected that the original number was a bit hopeful with drought conditions continuing much longer than has been thought. The Australian Wool Production Forecasting Committee's updated forecast of shorn wool production in 2018/19 is 305 mkg greasy, down by 10.8% from 2017/18.

今週の羊毛市場は先週に続き堅調展開となり、マーケット全体に上昇気配がより鮮明となった。特に上昇が顕著だったのは先週からいち早く反転上昇に転じた雑種羊毛と紡毛タイプ。両タイプ共にこれまでの調整局面において下落幅が最も大きく相対的に割安感が高まっていたことが挙げられる。

またメリノフリースタイプにおいては汎用性の高い18~22ミクロンの中番手メリノの急反発が目につく一方で、17ミクロン以上の細番手に関しては値動きはまだ比較的限定されている。これは昨シーズンから続く大干ばつの影響で出市構成的に細番手羊毛の出市比率並びに絶対量が増えている部分もあるだろうが、実際の市況がまだ商品トレンドを云々できる程の回復を見せていない証拠との見方もできる。要するに今回の相場上昇は昨シーズンまで見られたような中国市場での商品トレンドに基づいて16.5~17.5ミクロンの急激な需要増が羊毛相場全体を引っ張るという構図ではなく、年末休会や中国旧正月休みといったカレンダーイベント及び輸入&加工クォータ消化といった諸々の時限的制約に強いられたいわば機械需要と目下の出市状況との刹那的な需給ギャップによりもたらされた現象とみてほぼ間違いないだろう。実際まだ中国メーカーの多くは、現実の商売状況に対する悲観的見通しから今回の相場上昇も多寡が知れており、所詮長続きはしないと見る見方もまだ多いときく。目下の買付オーダーが、消去法的にとりあえず単価の安い雑種羊毛や、最終的に最も使用頻度が高くツプシの効きやすい中番手メリノに集中しているという事実もこうした文脈でみると理解し易いだろう。問題はそうした後ろ向きな最低限度の需要に対しても、今のところ供給が追いついていないという現実にあるといつてよい。

差し当って年内の残りのセール数(3週)とその出市予定を考慮すると、少なくとも休会までの間に再び相場が大きく崩れることは、やはり基本的には考え辛い。また休会明けの1月の相場については、過去10年以上にわたって中国旧正月休み目前の1月のセールで羊毛相場が大きく下げたという事例は一度もないという事実もある。可能性として最もイメージしやすい相場下落のタイミングはこれも例年通りではあるが、中国旧正月休み明けの2月後半から3月にかけて言う事になるだろう。然しながらもう一方の視点として、例えば最新の2018/2019の産毛量予測が前期比10%超減少見込みである事や、今シーズン前半の羊毛落札数量が対昨対で15%超減の見通しであるといった諸々の統計データ、更には早魁の深刻化並びに最近の羊毛刈り取りスパンの変遷に伴う出市羊毛の品質構成の急激な変化といった事態が、この先の羊毛相場に与えるであろうマグニチュードをある程度でも見通している人間は、中国勢を筆頭にこの羊毛業界には恐らく1人もいないまい。

そういう部分も含めて目先の羊毛相場についてはとにかく波乱含みという表現に頼らざるを得ない。

MICRON INDEX

~18.5mic	反発。USDベース: △3~4%
19.5mic	反発。USDベース: △4~5%
20.5mic	反発。USDベース: △4~5%
22.0-23mic	反発。USDベース: △2~3%
24.5mic	急反発。USDベース: △7~8%
XBD's	続騰。USDベース: △1.0~1.1%
CARDINGS	続伸。USDベース: △6~7%

MAIN BUYERS/BALES

TYN-	3,719	TECH-	3,469	EWE-	2,956
FOX-	2,312	PJM-	1,916	STEC-	1,691
AME-	1,669	MICH-	1,658	KTEX-	1,132
GSA-	713				

NEXT SALES

Week 22 (28-29/Nov)		
SYDNEY	9,239	BALES
MELBOURNE	19,441	BALES
FREMANTLE	7,767	BALES
TOTAL	36,447	BALES TO BE OFFERED

<Motohiro Sydney Office>

MICRON INDEX 2014-2018

